2010 年 7 月発行 No.MBC6F-03

ドライブシャフトブーツチェンジャー

model：BC-6F　取扱説明書

この度は、ＢＣ－６Ｆ：ドライブシャフトブーツチェンジャーのお買上げ誠にありがとうございます。本ツールは、日産小型ＦＦ乗用車の、フロントホイール側ドライブシャフトブーツ交換用ツールです。

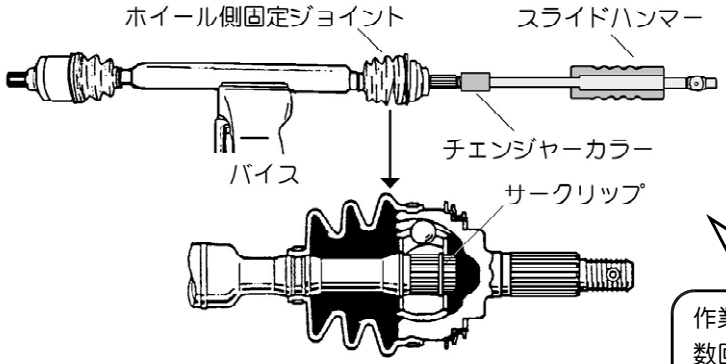
正しく、安全にご使用いただくため、作業前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を遵守してご使用下さい。また、各作業車両毎にメーカーの整備要領書を用意し、注意事項、基準値、作業ポイントなどは、メーカー指示に従って作業を行ってください。

＜＜＜＜＜　使用上の注意事項　＞＞＞＞＞

<!> 日産以外のメーカー車種については、整備要領書でホイール側固定ジョイントの分解は不可と明記されています。

<!> 固定ジョイントは、全てが分解できる物ではありません。非分解式のものおよびカラーの適応車種でも、サークリップの状態によっては、抜き取れない物が存在します。無理に引き抜くと、ドライブシャフトが破損します。2kg 弱のスライドハンマー(SH-18)で数回作業しても抜けない場合は、デフ側固定ジョイントから分解してください。

＜＜＜＜＜　使用方法　＞＞＞＞＞



○ 本ツールの使用には、接続ネジサイズＭ１８ＸＰ２.０のスライドハンマーが別途必要です。当社スライドハンマーでは、ＳＨ－１８、ＳＨ－３２、ＳＨ－３６が適合します。また、ネジサイズの異なるスライドハンマーをお持ちの場合は、切り換えジョイントも各種サイズ用意いたしております。

作業のコツ（１）
ロアアームなどに適当なあて板を敷き、ドライブシャフトをバイスクランプなどで仮固定します。さらにしっかりと手で保持しながら、本ツールで軽く固定ジョイントを引いてみてください。サークリップの状態によっては、ドライブシャフトを降ろさずに作業可能です。
＜注意＞
力を入れすぎると、デフ側の固定ジョイントが外れてしまいますので、無理な作業は避けて下さい。

作業のコツ（２）
数回のスライドハンマー作業で抜けない時は、いったん押し込み側にハンマーを操作し、固定ジョイントとドライブシャフトにわずかな遊びがある状態に戻します。バイスをゆるめて、クランプ位置を半回転くらい回し、再度作業を行って下さい。

作業のコツ（３）
以上の作業で抜けない物は、無理をせずデフ側から分解して下さい。日産以外の車種では、固定ジョイント内の、サークリップが張っている場所の構造上(面取りがない)、抜けない確率の方が高くなっています。無理をすると、スプライン部がめくれて、再使用不能となります。

ドライブシャフト・ブーツチェンジャーカラー適応表

カラーNo.	サイズ	車　種
ＢＣ－Ｆ３	M22 × P1.5	サニー B12 ／ HB12、パルサー N13　"96 ～ミラ、オプティー、バイザー、ムーブ　レガシー "96 ～スターレット、コロナ、カルディナ、アバロン、ウィンダム、イプサム、他トヨタ全般 "96 ～シビック、アクティー、アコード、ロゴ　ディアマンテ、シグマ、ギャラン　カペラ　アスカ
ＢＣ－Ｆ４	M24 × P1.5	ブルーバード、セフィーロ　レジエンド、アクティー(4WD リア)、アコード(SIR-T)、Ｓ－ＭＸ
ＢＣ－Ｆ５	M20 × P1.5	サンタナ M30、マーチ K11　ファミリア、デミオ
ＢＣ－Ｆ６	M18 × P1.5	アルト、ワゴンR、他スズキ　キャロル
ＢＣ－Ｆ 11	M19 × P1.5	コロナ AT150 ／ AC-176
ＢＣ－Ｆ 12	M26 × P1.5	レジェンド(3.2 リッター)

製造元：**林精鋼株式会社**　埼玉県朝霞市栄町３－６－４５